保管用
よくお読みください
保証書別途

取扱説明書

四輪歩行車
KW41



● 目　次 ●

このたびはカワムラサイクルの歩行車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます（http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm）。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。



株式会社カワムラサイクル

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

［表示マークの説明］

※正しい取扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
注意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
禁止	してはいけないことを示しています。
必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

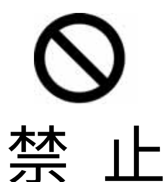
※ 以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

警告	
禁止	●この製品は、歩行車です。それ以外の用途には使用しないでください。 ●屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。 ●倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。また、座面部以外に座らないでください。 転倒または壊れてケガをする恐れがあります。 ●歩行車に座った状態で前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。歩行車が転倒し危険です。 ●歩行車を火気に近づけないでください。 シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、 熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。 熱湯消毒についても同様です。 ●勝手に改造・分解しないでください。 強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。

⚠ 警告

禁 止	●複数の人数で使用しないでください。 この歩行車は、一人用です。二人以上で乗ると破損・事故の原因となります。 ●歩行車に座る際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて歩行車が固定されていることを確認してください。 ●ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。 ブレーキが変形・破損する恐れがあります。 ●歩行車を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。 ●傾斜地での走行は、歩行車が予想外の方向に進むなど、大変危険です。 ●段差の前では一旦停止して前輪を持ち上げて乗り越えてください。 決して勢いをつけて乗り越えないでください。 大変危険です。また、フレーム及び車輪等の損傷を受けます。 ●大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。 ●坂道や傾斜のあるところで駐車ならびに座らないでください。 安定性が悪くなり、転倒の恐れがあり大変危険です。絶対にしないでください。 傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。 滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があります。 ●雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等のある場所でのご使用はお避けください。 車輪のサビ等により故障の原因になります。 ●踏み切りを横断の際は、前輪をレールに対して直角にして通行してください。 斜めの角度で進入するとレールの溝に車輪がはまって危険です。必ず介添人と一緒にわたってください。 ●可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。 ●小さなお子様には使用させたり、遊ばせたりしないでください。
必ず守る	●道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

⚠注 意

<table>
<tr><td>
禁 止</td><td>

●この製品は車いすではありません。人を乗せたまま移動しないでください。

●走行する際には片手で操作しないでください。
傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。

●シートには立たないでください。転倒の恐れがあります。

●バッグには、5kg 以上の荷物はいれないでください。

●下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。
・車道に近いところ
・人通りのあるところ
・路面に段差や凸凹のあるところ
・湿気の多いところ
・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
・雨風の当たるところ
・ほこりの多い場所
・坂道
・非常口、消火器、消火栓の前
・暑い日や寒い日の戸外
・直射日光の当たる場所（車内も含む）
・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
・子供がいたずらをする恐れのある場所
事故やサビ・破損の原因になります。

</td></tr>
<tr><td>
必ず守る</td><td>

●押手高さ調整ピンは、確実にロックされているか確認してください。

●手押しハンドルグリップは、必ず左右同じ高さにしてください。

●ブレーキは必ず手で操作してください。

●回転している前輪・後輪に指等を差し込まないように注意してください。

●次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介添人に同行してもらってください。
・エスカレータ　・階段　・坂道　・ぬかるみ
・交通量の多い道路　・踏み切り　・防止柵のない側溝や路肩付近など
・凹凸の激しい道　・夜間、雨や雪、風の強い日
・凍結路　・深い砂利道や砂道　・その他危険が予想される場所

●夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。充分にご注意ください。

●発進するときや段差を乗り越えるときには、車輪が真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。
斜めに進入したり、車輪が斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、車輪の破損や車輪からタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

●認知症の方がご使用される場合は、必ず介添人が付き添ってください。
また、歩行車の部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。

</td></tr>
</table>

なお、この取扱説明書は、イラストが一部実車と異なる場合があります。

１.製品の特徴・使用目的

この製品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行車です。また、ゆっくり走行することを想定して作られています。

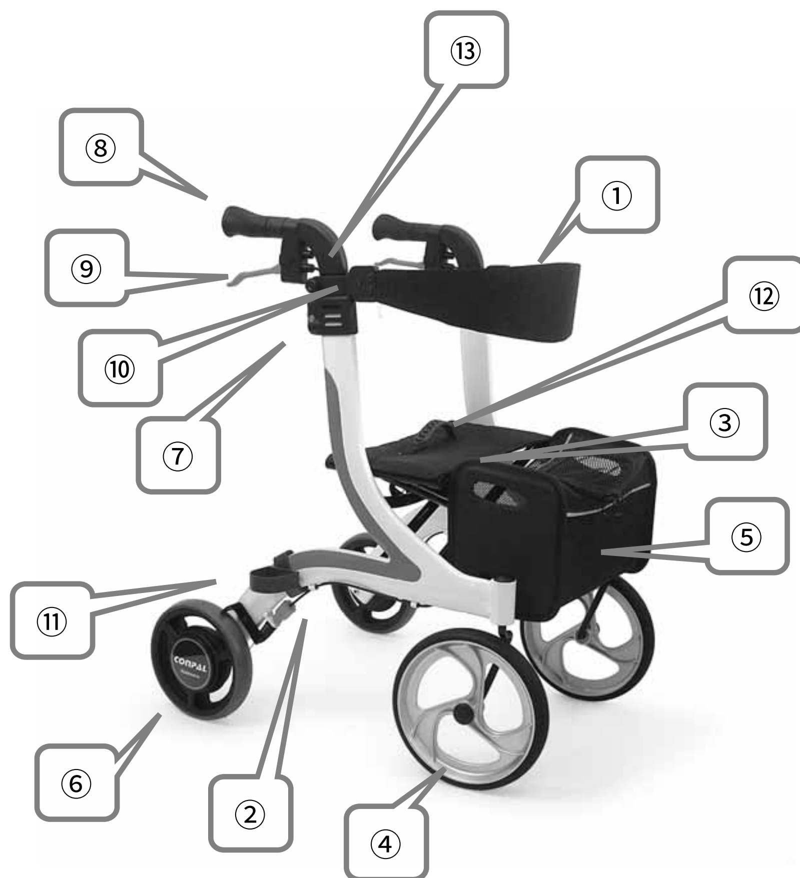
- 押手高さを調整できます。
- 取付け・取外し自由のバッグがついています。
- 疲れたときには、シートに座って休むことができます。

2.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

- バッグ
- 4mm 六角レンチ
- スパナ
- 取扱説明書（保証書はがき）
- ステッキボウル（バッグの中に入っています）

3.各部名称



①背ベルト	座面に腰掛ける際の背もたれです。
②ブレーキワイヤー	ブレーキを操作するためのワイヤーです。
③シート	腰掛けるときに使います。
④前輪	自在に方向転換できる小車輪です。
⑤バッグ	荷物などを入れられます。ただし、5kg 以上のものは入れないでください。
⑥後輪	主輪です。（抑速ブレーキ内蔵ホイール）
⑦押手高さ調整ボタン	押手の高さ調節するボタンです。
⑧手押しハンドルグリップ	歩行の際に握っていただく場所です。
⑨ループブレーキレバー	駐車や減速する際にご使用ください。
⑩ステッキホルダー	杖を固定するための面ファスナー式のベルトです。
⑪ステッキボウル	杖先を収める場所です。
⑫折りたたみベルト	引っ張る事で歩行車を折りたたむことが出来ます。
⑬背ベルト高さ調整ノブネジ	背ベルトの高さを調整するノブネジです。

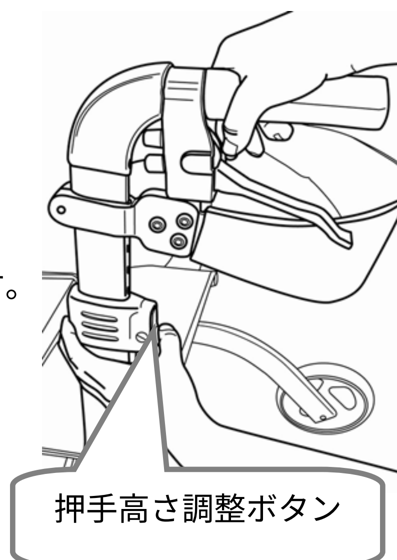
4.お使いになる前に

組立ておよび調節

① 押手の高さ調節

・押手高さ調整ボタンを押しながら押手を上下にずらして高さを決めます。

・押手高さ調整ボタンが戻って押手が動かないことを確認します。



⚠ 注 意

・押手は必ず左右同じ高さにしてください。
・押手高さ調整を行った後は、ブレーキの利きを確認し、制動力が弱い場合はブレーキワイヤーの調整を行ってください。

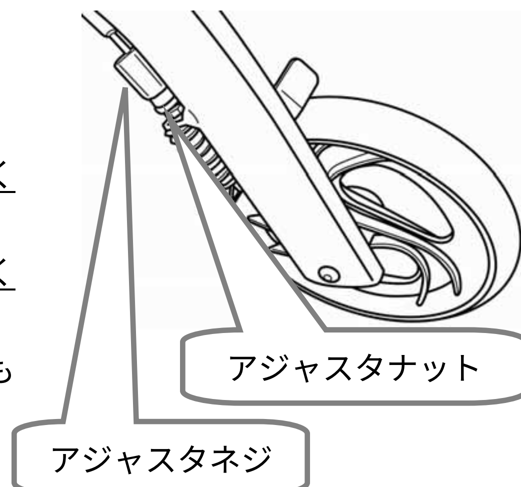
POINT 手押しハンドルグリップ高さは、歩行車の後ろに立ち、グリップを軽く握ったときに肘が少し曲がるくらいの位置を目安にします。

② ブレーキワイヤー調節

・アジャスタナットを付属工具（スパナ）で緩めます。

・アジャスタネジのオレンジ色のつまみを下へ押して、手で回して調整します。
<u>ブレーキを強める場合は、左回りにつまみを回してください。</u>
<u>ブレーキを弱める場合は、右回りにつまみを回してください。</u>

・左右のブレーキの利きが同じになるようにもう一方も同じ作業を行い調節して下さい。

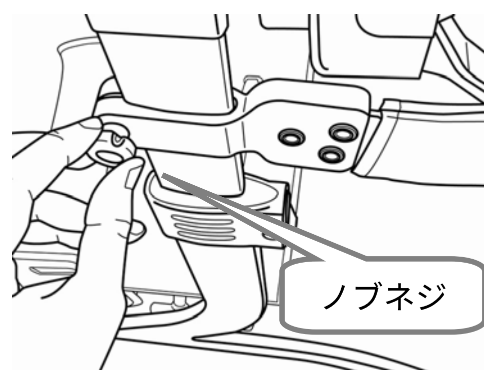


③ 背ベルトの高さ調節

・背ベルト高さ調整ノブネジを緩めて高さを調節して下さい。

・調節後ノブネジをしっかり締めてください。

・背ベルトの高さが水平になるようもう一方も同じ作業を行い調節して下さい。



⚠ 警 告

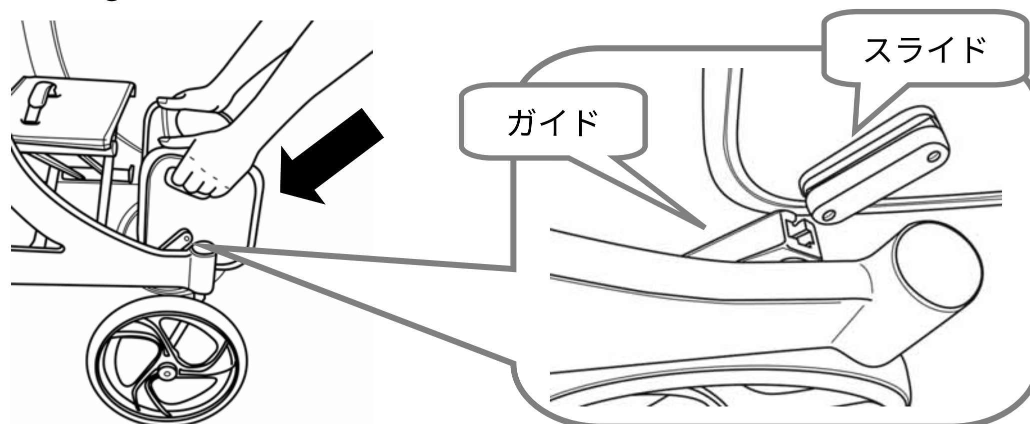
必ず背ベルトを取り付けた状態で、ご使用ください。転倒やけがの原因となります。

④ バッグの取り付け方

・バッグ側面の金属製のスライドを本体前部のガイドに差し込みます。

・バッグのファスナーのリングが前に来るように取り付けてください。

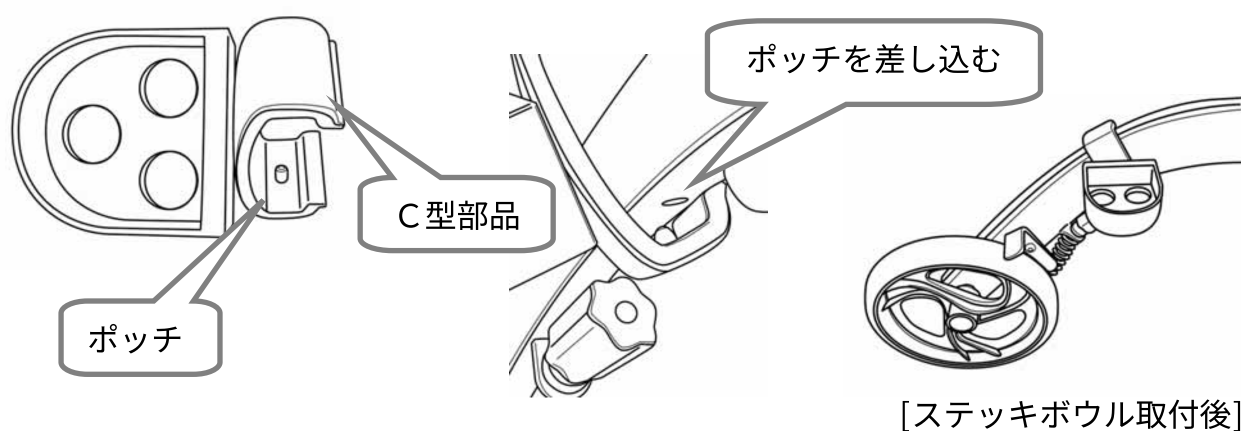
※バッグには、5kg 以上の荷物はいれないでください。



④ステッキボウルの取り付け方

・出荷時、ステッキボウルはバッグの中に入っております。

・後輪付近の歩行車本体裏側の穴にステッキボウルのポッチを差し込みます。

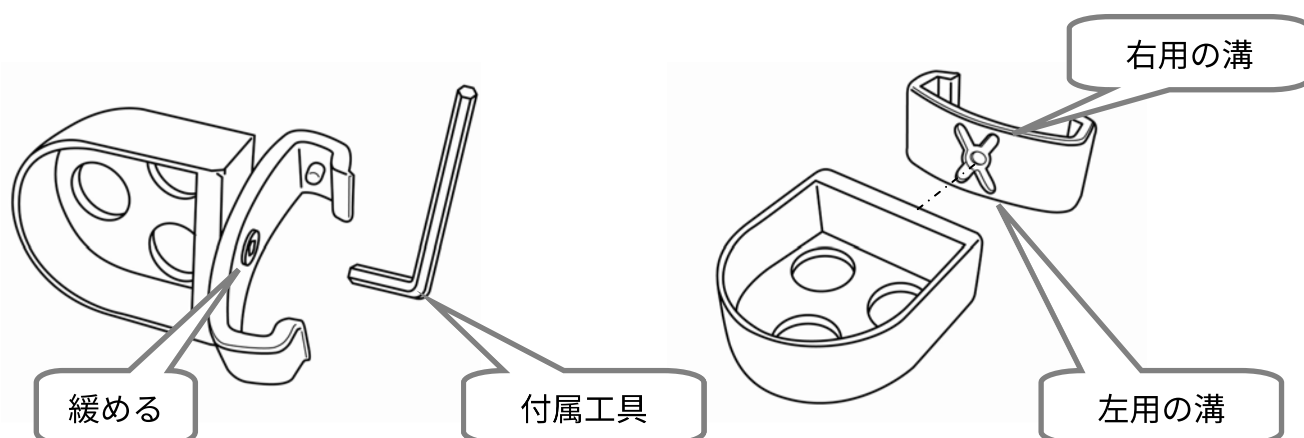


[ステッキボウル取付後]

⑤ステッキボウルの左側への取り付け方

・ステッキボウルのネジを付属の工具で緩めます。

・ステッキボウルをＣ型部品の左用の溝にはめ、ネジを付属の工具でしっかり締めます。



歩行車を使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
長期間使用を続けると、劣化が生じます。

★装着品の確認
- 背ベルトはしっかりと固定されていますか？
- バッグはしっかりと取り付けられていますか？

★押手の確認
- 押手高さ調整ボタンはしっかりと固定されていますか？
- 手押しハンドルグリップの高さは左右同じですか？

★ブレーキの確認
- ブレーキが正しく作動しますか？
- 制動ブレーキをかけた状態で主輪が回転しませんか？
- 駐車ブレーキをかけた状態で主輪が回転しませんか？

★前輪及び後輪
- しっかりと固定されていますか？
- スムーズに回転しますか？

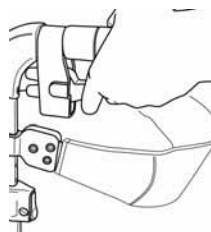
★全体的に
- ガタつきはありませんか？
- まっすぐに走りますか？
- 各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
- ワイヤーが部品等に引っかかっていませんか？

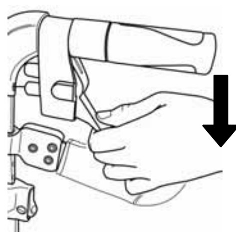
万が一、ケガや事故が起きた際には、早急に販売店へご連絡ください

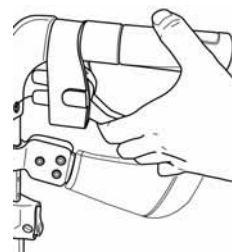
消費生活用製品安全法の改正により、生活に使う製品で重大事故が起きた場合、メーカーや輸入業者は経産省への報告を義務付ける事になりました。これは重大事故が他でも起きないように被害を拡大させないための措置ですので、どうか早急なご連絡をお願い申し上げます。

5.各部の使用方法および操作方法

①ブレーキのかけ方


[制動ブレーキ]

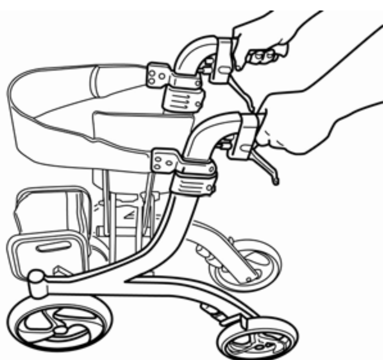

[駐車ブレーキ]


[ブレーキ解除]

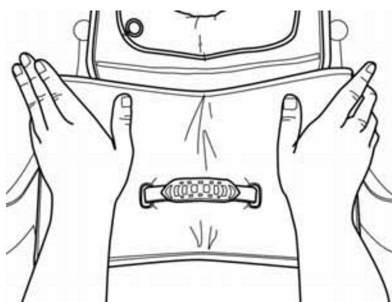
・ブレーキレバーを引き上げると制御ブレーキがききます。
・指を離すとレバーは元に戻ります。
・また、手で下に押し下げると駐車ブレーキがかかり主輪が固定されます。
　ブレーキをかけたとき左右の後輪がしっかりと止まっていれば正常です。
・ブレーキを解除する場合はブレーキレバーを軽く押し上げてください。

⚠ 注 意
●必ず両手でハンドルを握って身体を支えてください。 ●必ずブレーキがロックされていることを確認してから立ち上がりまたは座って下さい。 ●坂道や傾斜のあるところで駐車しないでください。 　転倒の恐れがあり大変危険です。絶対にしないでください。

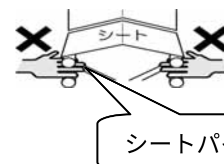
②拡げ方



駐車ブレーキをかけます。歩行車の前方または後方に立ち、左右の押手を持って両側に軽く拡げます。

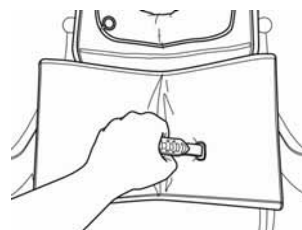


片方のフレームを持ち上げて車輪を少し地面から浮かせ、シートパイプ部分を上から手で押し下げます。

⚠ 注 意
●シートパイプの横や下に手や指を置かないでください。 　挟まってケガをする恐れがあります。

●シートパイプ受けにシートパイプが乗っている事を確認してください

③折りたたみ方

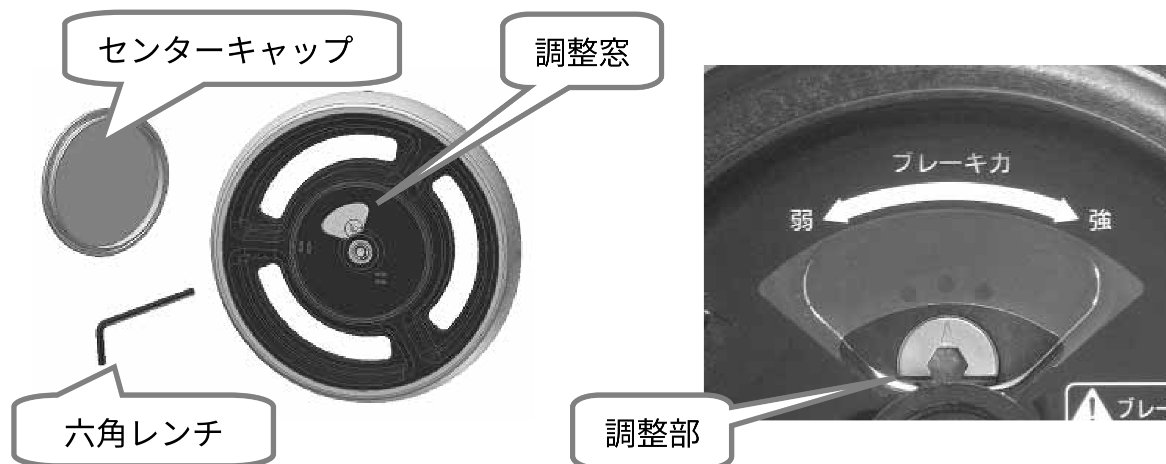
・折りたたみベルトを上方向に引っ張ります。



6.抑速ブレーキ内蔵ホイール(後輪)の操作および取扱について

①後輪のブレーキ力の調整方法

・センターキャップを取り外します。
・タイヤを回転させ調整窓と調整部の位置を合わせます。
・調整部の六角穴に付属の六角レンチを差し込んで回し、調整部の矢印を調整したい位置に合わせることでブレーキ力の調整を行います。
　※六角レンチを差し込む向きは下図参照。
・調整が完了したらセンターキャップを取り付けます。
・左右の車輪ともに同じ強さのブレーキが作動することを確認します。





ブレーキ力　弱　　ブレーキ力　中　　ブレーキ力　強

⚠ 警 告

●調整窓に指を入れないでください。指をはさんで、ケガをする恐れがあります。
●調整の段階はかならず使用者のレベルに合わせて調整してください。ブレーキ力と使用者の運動レベルの不一致により予期せぬ転倒につながる恐れがあります。

⚠ 注 意

●調整は 3 段階です。それを超えて回すと、調整部が破損しますので注意してください。
●六角レンチの向きを誤った状態で調節した場合、調整部が破損しますので注意してください。
●六角レンチを挿したまま、タイヤを回さないでください。調整部が破損する恐れがあります。
●調整の段階は左右同一にしてください。左右のブレーキ力の不一致により、予期せぬ転倒につながる恐れがあります。

②日常の点検

- タイヤや車輪（内側若しくは外側）にひび割れや変形はありませんか？
- タイヤ外周の溝が摩耗し、タイヤの交換時期を過ぎていませんか？
- 使用時に車輪が大きく振れていませんか？
- センターキャップが外れやすくなっていませんか？

③おかしいなと思ったら

各状況に応じて、以下の内容に沿って調べてください。それでも治らない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

状況	調べること	処置
車輪がロックされたままになっている	センターキャップ内で部品が外れていませんか？ 歩行車のパーキングブレーキが作動したままになっていませんか？	・センターキャップを外し、中で何か挟まっているものがないか確認してください。 ・歩行車のパーキングブレーキを解除してください。
ブレーキの効きが悪い	ブレーキ力の調整が弱くなっていませんか？	・ブレーキ力の調整を確認し、調整を行ってください。 ・解消しない場合には、販売店または当社までご連絡ください。
異音がする	車輪の軸に何か挟まっていませんか？	・挟まっているものを取り除いてください。 ・解消しない場合には、販売店または当社までご連絡ください。
タイヤが大きく振れる	ボルト･ナットが緩んでいませんか？	・ボルト・ナットの締結を確認してください。 ・解消しない場合には、販売店または当社までご連絡ください。

※抑速ブレーキ操作音 …………… 本ブレーキ機構は摩擦式の為、擦れるような音が多少発生します。
また、その音は気温や温度などの環境によって変化します。



●異常がある場合は、使用しないでください
●使用中に何か異常を感じたら、直ちに仕様を中止し、直ぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。
●分解や改造はしないでください。分解・修理が必要なときは、必ずお買い上げの販売店までご連絡ください。
●グリスや油は入れないでください。十分なブレーキ力が出ずに転倒につながる恐れがあります。

④抑速ブレーキ内蔵ホイール（後輪）仕様

寸法　　　　　　　　　（mm）	車輪外径φ220　車輪幅 35
重量　　　　　　　　　（kg）	1.2
使用者最大重量　　　　（kg）	100（バックなどの積載物含む）
ブレーキ力　　　　　（km/h）	1.5 以下（8 度の下り坂自由落下時の収束速度）
速度調整	3 段階

※記載内容や仕様などは、改良の為予告なく変更する事がありますのでご了承ください。

⑤注意事項



●後輪を取外し、他の歩行車や機器に取り付けないでください。予期せぬ事故につながる恐れがあります

●動作異常、異音がある場合は、使用しないでください。修理が必要な場合は、必ずお買い上げの販売店までご連絡ください。

●センターキャップが必ず取りついた状態で使用して下さい。ゴミや水の浸入により所定のブレーキ力が得られず、転倒する恐れがあります。外れている場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

●水が入った場合は、使用時に 5、6 回ブレーキをかけて、ブレーキが掛かることを確認してから、使用して下さい。もし、ブレーキがかからない場合は、何回かブレーキをかけてブレーキ力が回復する事を確認してから使用して下さい。

●車のトランクや高温になる場所には保管しないで下さい。作動不良や機器の故障により事故につながる恐れがあります。



●タイヤに紐などが巻き付いていないか確認して下さい。巻き付いていた場合は手を挟まないように気を付けながらゆっくりと外してから、使用して下さい。

●タイヤを持って、本体を持ち上げないでください。タイヤとフレームで手を挟みケガをする恐れがあります。

7.お手入れの方法

★金属部分（フレーム）

凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびりついた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。
ご使用後は必ず乾燥させてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。
市販されている防水加工用のスプレーなどを用いての防水加工をお勧めします。防水加工を行う場合は、ご使用になる防水加工用商品の説明書をよくお読みください。

＜汚れがひどいとき＞

●汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。
●しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
●洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

★後輪

ボルト・ナットの締結部品を緩めたり、分解・改造したりしないでください。分解・修理が必要なときは、必ずお買い上げの販売店までご連絡ください。
タイヤや車輪などは水を含ませ強くしぼった布で拭いてください。

⚠ 注 意

●熱湯やオゾン、水、スチームで洗浄しないでください。
故障・変質・変色の原因となります。
●中性洗剤以外を使用しないでください。
中性洗剤以外を使用した場合変質・変色・傷みの原因となります。
●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。
●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。
●高圧洗浄などで水をかけないでください。もし、水をかける場合は、センターキャップを車輪（外側）に隙間なく取付け、内部に水が浸入しないようにしてください。
故障の原因になります。
●グリスや油は入れないでください。十分なブレーキ力が出ずに転倒する恐れがあります。
●石鹸水や、油性のクリーナーを使用しないでください。内部に液体が浸入し、十分なブレーキ力が出ず転倒につながる恐れがあります。

8.保管についてのお願い

歩行車は安全な場所に保管してください。



●下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。

- ・車道に近いところ
- ・路面に段差や凸凹のあるところ
- ・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- ・ほこりの多い場所
- ・非常口、消火器、消火栓の前
- ・直射日光の当たる場所（車内も含む）
- ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
- ・人通りのあるところ
- ・湿気の多いところ
- ・雨風の当たるところ
- ・坂道
- ・暑い日や寒い日の戸外
- ・子供がいたずらをする恐れのある場所

事故やサビ・破損の原因になります。

9.歩行車の保守・点検

この製品を安全にお使いいただくためには、日ごろのお手入れと点検整備が必要です。

★ネジの緩みはありませんか？

ネジ、ノブ類の緩みがないことを確認してください。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、お買い上げの販売店までご連絡ください。

★汚れていませんか？

ホコリや泥などで汚れたときはそのままにしておかず、早めに濡れ雑巾等でふき取ってください。汚れのひどいときは中性洗剤をお使いください。

★ブレーキはしっかり効きますか？

ご使用前には必ずブレーキの効き具合を確認し、効きが悪いときにはご使用をお止めいただき、すぐにお買い上げの販売店でご連絡ください。

★変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかを確認してください。車輪のベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。原因が不明な場合、修理可能な場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

★四点接地していますか？

前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

★ブレーキワイヤーは切れていませんか？

不意にブレーキが効かなくなったり転倒するなど大変危険です。安全のためにワイヤーは１年に１度交換してください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

洗浄後は、乾燥させてください。カビやサビの原因になります。



●異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して販売店へご相談ください。

10.仕　様

＜各部寸法＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・記載の寸法や状態は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

品名・名称	標準仕様・規格
	KW41
材質（本体）	アルミ製
（座面）	ポリエステル製
全幅　（mm）	525
ハンドル高さ　（mm）	790～890（5段階）
グリップ（内幅）　（mm）	370
座幅　（mm）	370
奥行き　（mm）	700（バッグ取付時）
座面高さ　（mm）	450
前輪	10インチ　ロープロ　カンチレバー
後輪	8インチ　CONPAL ナブテスコ株式会社製
ブレーキ	ループブレーキレバー
重量　（kg）	8.7

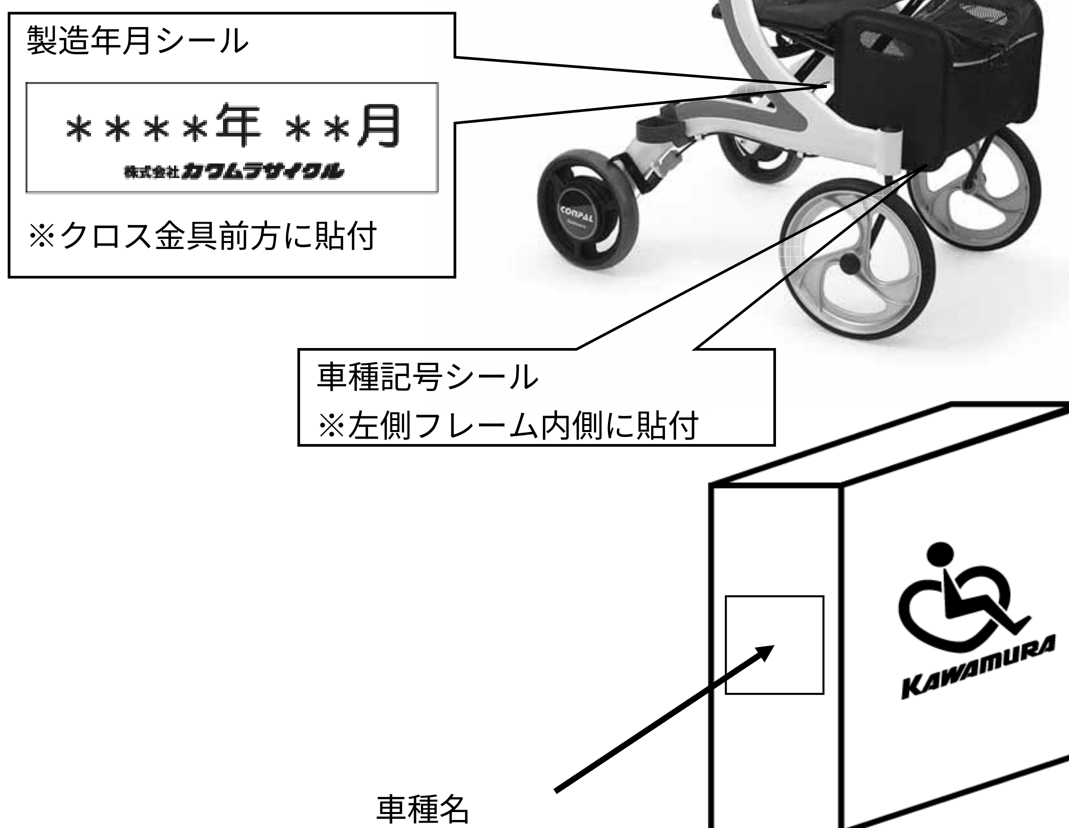
地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

１１.製造番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造番号を記録しておいてください。
車体番号は右フレームに貼り付けられています。

車　　　種	
製　造　月	年　　　　月

＜シール貼付位置＞



１2.保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。
返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。
※ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

★保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。（消耗部品は含みません。）

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★消耗部品

・前輪、後輪　・ワイヤー　・バックサポート

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
　例）タイヤの磨耗およびパンク、シートの破損等
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
（ｆ）一般に歩行車が通行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
（ｇ）製品の本来の使用目的にそぐわない使用による故障破損
（ｈ）取扱説明書に従わずして生じた故障破損
（ｉ）取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
（ｊ）保証書をご返送いただいていない未登録の製品
（ｋ）日本国外でご使用の場合

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

※異常や不具合が見つかったらご使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

メ　モ

KW41





■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-20-10	TEL06-6190-8488
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原1-18-3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2013.4 版